

包括名	活動内容	第2層協議会
北西部	<p>① H24年度から開始した地域版介護予防教室を拠点にした地域づくりの取組み (介護予防サポーター(民生委員等で構成)を対象に地域課題等について継続的に話し合う。改めて各教室や開催地区の地域アセスメントを行い、介護予防サポーターと教室毎の課題・目標・具体的な取り組み手段を共有する)</p> <p>② 地域版介護予防教室の定期巡回 (年3回定期訪問しサポーターや参加者から地域課題等についての情報収集や、地域に向けて情報発信を実施)</p> <p>③ オレンジカフェわいわい店の開催 (町会や参加者、介護予防サポーター等と協力し、地域における認知症への理解を深めるとともに、包括の相談窓口としての機能を周知し、迅速に対応できるよう体制整備※を行う。障がい者支援を行う他の社会福祉法人などとも協働できるよう展開していくことで、地域共生社会の実現に向けた取り組みに発展できるよう工夫していく)</p> <p>※生活支援コーディネーター・介護予防担当・認知症地域支援推進員・認知症初期集中支援チームの協働により、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、高齢者を、地域で支えていく体制を支援する。</p> <p>④地域向け広報紙「にこりてい」の発行(年3回発行し、各町会の回覧にて情報発信をする)</p>	<p>① 介護予防サポーター交流会 (第2層協議会) シニア元気教室再開直前に開催予定 ※現在、新型コロナウイルス感染予防のため、教室の自粛要請中</p> <p>② オタモイ団地意見交換会(第2層協議会) 8月・3月に開催予定</p>
中部	<p>① 例年「みんなカフェ」は年2回の調理実習を実施し、地域の方々と交流をしてきた。今年度より、「みんなカフェ」の調理実習1回と、介護予防(フレイル対策)の目的で市内散策を1回行う。名称は「みんなの歩く会」として、小樽広報誌等で多くの方に参加を呼び掛けていく。</p> <p>② 「みんなカフェ」(11月頃の開催予定)</p> <p>③ 「みんなの歩く会」(6月に開催する) 「みんなのボランティア(みんなボラ)」の2名の方にサポーターとして初参加していただく予定。4月にみんなボラ2名と生活SCが顔合わせする場を設け、今後の活動の打合せを行っていく。</p> <p>④ 包括内のイベントや多様な広報誌を活用し、「みんなカフェ」及び「みんなの歩く会」の周知・参加を呼び掛ける。みんなのボランティア募集も継続する。</p> <p>⑤ 市内他カフェの見学</p> <p>⑥ 他市の生活支援コーディネーターの活動の視察</p> <p>⑦ 生活支援コーディネーターに係わる研修、見学の参加</p> <p>⑧ 介護支援専門員の研修会開催時に地域支援に関するアンケートを行っていく。</p> <p>⑨ 市内生活SCと活動の情報交換を行っていき、今後の活動の参考にしていく。</p>	<p>① 9月予定 地域つながる会議(第2層協議会) 緑地区で開催</p> <p>② 地域住民や若い世代、介護事業所等に参加を呼びかけ、今、自分たちは地域で何ができるのかということを検討したい。</p>

<p>南部</p>	<p>① サロン（入船六三町会おしゃべりサロン、松ヶ枝長寿会等）や介護予防教室（からまつ・すみのえ・おくさわ・わくわく奥沢口）へ訪問し、地域課題等の情報収集や意見交換を行う。サロンについては圏域外への訪問も予定。</p> <p>② 認知症地域支援推進員との協働事業。認知症カフェ築港店を開催。（R2 5/21、6/18、8/20、12/3、R3 3/11）</p> <p>③ 民生委員定例会に参加（例年5月～7月で開催しているが、秋に延期）</p> <p>④ 済生会健康フェスタの多世代交流の場を開催（R2.8月又は9月開催予定）</p> <p>⑤ 認知症地域支援推進員との協働事業。特定団体向け認知症サポーター養成講座（商業施設）の開催。</p> <p>⑥ 生活支援コーディネーターに係る研修会への参加や他市の活動視察</p> <p>⑦ 圏域内の地域活動の後方支援</p> <p>⑧ 住民ワークショップの開催を検討し、住民主体の地域づくりを推進していく。</p>	<p>① 第2層協議会</p> <p>入船六三町会で開催予定。コロナウイルスの影響で開催日未定</p>
<p>東南部</p>	<p>① 新光地区で地域のことわかる勉強会を開催予定（老人クラブ、町内会を想定。テーマ未定）</p> <p>② 居宅介護支援事業所を対象に、事業所全体の勉強会を開催。地域ケア会議（自立支援型）について、包括がサポートする。居宅ごとに開催。モデル的に居宅朝里温泉・この葉と協力して実施</p> <p>③ 東南部圏域独自のお役立ち手帳(別冊)の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な介護施設の利用条件や料金、活用できる減免制度の説明、東南部圏域の特性を盛り込んだ地域の情報パンフレットを作成する（包括での相談者や研修会での配布） <p>④ 各懇談会への参加</p> <p>（地域懇談会、茶話会、認知症カフェ、民生委員協議会等に参加し、情報交換や各種講座を実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換とコーディネーター周知 <p>⑤ 地域での研修会の開催</p> <p>（東南部圏域の自治会・介護事業所・お役立ち手帳に記載されている団体等の活動内容の理解を深め、ネットワーク構築と地域の見守り活動の体制を整備する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桂岡地区意見交換会（場所：十万坪会館 時期未定） テーマ：介護保険課企画の札幌市社協の見守り活動についての講演 ・朝里地区発足予定の「くさのネ」に参加と協力 <p>⑥ 居宅介護支援事業所個別訪問</p> <p>東南部圏域内では、訪問介護・通所介護サービス等の介護サービス提供が困難になってきているため、介護支援専門員が抱えるニーズ把握を行う。（居宅介護支援事業所10ヶ所を訪問）</p> <p>⑦ 薬カレンダーを活用しての2層コーディネーターの普及啓発 薬カレンダー400枚作製。</p> <p>啓発用語・包括名・電話番号を記載して、町内会向け研修会やサロンや体操教室等で配布</p>	<p>2層協議体の設置</p> <p>東南部圏域2地区を想定福祉に興味がある人をメンバーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協は、地域での小地域ネットワーク事業やボランティア事業を推進していることから、協力を依頼する。

